
戦場のヴァルキュリア ～未来へのキズナ～

名無しの7

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

戦場のヴァルキュリア ～未来へのキズナ～

【Nコード】

N3292Z

【作者名】

名無しノ7

【あらすじ】

旋律が降り注ぐ空。見上げればモノクロの空。その空へとまた、大事なものが消えていく。何度きれいな夢を見ても、目が覚め空を見れば、映るのはすべてが消えていくモノクロの空。彷徨い続けた結果、人は何を思い、何を見つける？

プロローグ（前書き）

こんにちは、名無しの7です。初心者なので
完結までどうか、あたたかい目で見守って
いただけると幸いです。

とまあ前置きはこのぐらいで。

戦場のヴァルキュリア〜未来へのキズナ〜
始まりです！！

プロローグ

プロローグ

左右が切り立った崖に挟まれた山道で、金属音が響いていた。飾りがなく片手で振れる両刃の剣と、濃い青色で刀身が螺旋状になっている槍が交差するたびに、周囲に金属音が鳴り響く。

剣を振っているのは二十代前半と思える黒色の髪と瞳の男性だ。

男の左わき腹と右足の太ももからは血が流れている。

槍を振っているのは二十代前半と思える長い銀髪と赤い瞳の女性だ。おそらくこの女性が男にけがを負わせたのだろう。

「ハアッ!」

何回か打ち合った後に男性がよろめく。女性は男がよろめいた瞬間、右足の踏み込みと同時に槍を突き出す。

「ガハッ!？」

突き立てられた槍を受け切れず、男は胸の中央から血を流しながら地面を転がっていき、数回転がってから停止する。

「く……………そ……………」

男は自分の意識が薄れていくのを感じた。薄れていく意識の中で男は、

女性が近寄って来るのを、気配と足音で察する。

「ここまでだな」

女性の声が耳に届くと同時に、男は光に包まれる感覚に落ちた。そして

男はなくなりかけていた意識を完全に閉じた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3292z/>

戦場のヴァルキュリア ～未来へのキズナ～

2011年12月11日12時46分発行